

2021.5.31

# Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動



サンゴジュの赤い実はよく見かけるけれど、白い花が満開の状態は見過ごしがち（左の写真＝板橋区郷土資料館裏の都立赤塚公園内）。クリの木の大木がたわわに花を咲かせているのも滅多に観ることができません



（右上の写真＝城址地区南側の民地）。そして、上を見上げれば実をつけたウメやサンシュユが気持ちの良い木陰をつくっています（右下＝板橋区立ため池公園）。2つの行政機関と隣接の民地の緑が折り重なって、心を和ませる景観をつくっているこの土地に、これはなんだ！



## この公園にふさわしくないもの ごみの放置



←自分の部屋で飲み食いしたらきつとこんなに汚したままにし

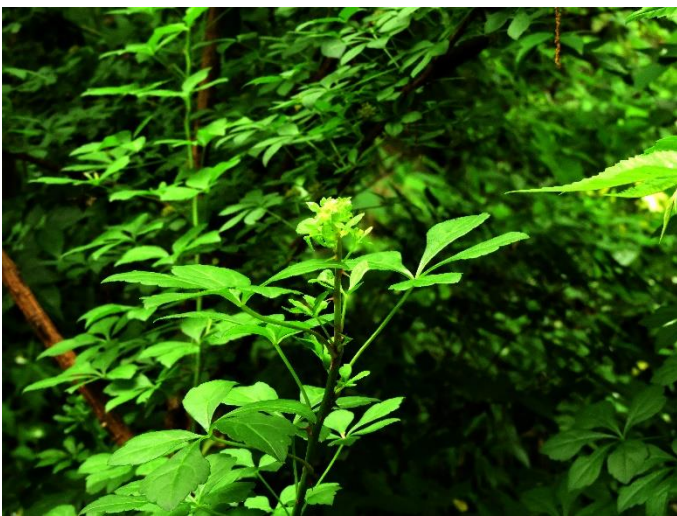


ないでしょう。ごみは誰かが片づけなけ

ればならないもの。公園のスタッフやボランティアが活動の一環として片づけていますが、放置した人は自分がやるべき仕事を他人にやらせる「労働力のドロボウ」をしているわけです。恥を知るべきです。



普段は注目されない植物。でも、芽吹きは美しい！



落葉樹なのに林に生える木としてはあまり歓迎できないのですが新芽の芽出しはきれいです、その名も**アカメガシワ**（上左）。雄花の蕾ものぞいています。漆の仲間なので、かぶれやすい人には敬遠されてる**ヌルデ**（上右）。枝に鋭いとげがあるのでうかつに触れない**オカウコギ**（左）。

名前がいかにも毒々しいだけで、花は美しい十字架型、薬用にも重用されてきた**ドクダミ**（下）。各所で大群落をつくって開花中。誰かが「ニリンソウみたいにきれいだね」と言いました。

※ ※ ※  
6月のモニタリングは  
6/7  
6/14  
6/21  
いずれも月曜日  
9:00 ため池  
公園梅林下  
スタート

ただし、このご時世、コロナワクチンの接種をなさる方は、そちらを優先してください。

